

\\ しもやまの魅力や地域の活動を **知って** **届けて** **広めよう** //

WE しもやま LOVE



地区の伝統文化や昔話を将来につなぐ

香恋の館2階にある郷土資料館の展示が新しくなりました。

下山の魅力や新たな一面を知り、地域の伝統文化や昔の暮らしなどを後世に語り継いでいただくために「下山ならではの」展示を目指しています。

展示は、令和3年度から「下山に伝わる季節の行事と暮らし」をテーマに随時リニューアルしています。今回は「収穫の秋」と「備えの冬」が加わり、下山の春夏秋冬（1年の暮らし）の展示が完成しました。イラストや実際に使用していた農機具を使って分かりやすい内容となっています。

作者のなかむらひろこさんは「昔は何もかも人力で、根気と体力の要る厳しい暮らしでしたが、季節ごとの行事に祈りがあり喜びや楽しみもありました。代々続く暮らしを下山の先代達が少しでも楽しく豊かなものにして、大切な子孫、つまり私たちに伝え渡してゆこうとする営みをイラスト入りで表現しました」と話しました。

ぜひご家族、お友達などお誘いあわせのうえ、お越しください。



地域広報誌のリニューアルについて

これまでしもやま支所だよりとして発行してきた広報誌は、令和4年11月に下山地域会議が答申した山村条例第6条「山村住民の役割」を実践するため、令和5年4月号から「住民が地域に愛着と誇りを持ち、山村の価値を次の世代につなぐ」ことを目指し、リニューアルしました。

タイトルは、下山地域会議でアイデアを出し合い「WE LOVE しもやま」に決まりました。

サブタイトル「しもやまの魅力や地域の活動を知って、届けて、広めよう」は、広報誌を通じて、地域の魅力を知る、自らの活動などを届ける、地区内外の住民へ広めるという3つの具体的な行動を示しています。

ぜひ広報誌を活用して、地域一丸となってしもやまの魅力を知って、届けて、広めましょう！





令和4年度しもやまスマイルプラン（分野別）の取組

下山を担う仲間を増やそう



定住・移住 ～下山を担う仲間を増やそう～

【活動団体】

各自治区、里楽暮住しもやま会

【主な取組】

・空き家情報バンクによる移住実績

物件登録数：4件（うち、契約2件）、移住者数：6人、2世帯

・里楽暮住（りらくす）しもやま会の主な活動

5月11日 下山中学校1年生に移住定住に関する取組を説明

2月26日 移住者3名と交流会を開き、必要な情報やニーズを把握

3月3日 中学3年生が20歳の自分と地域へ手紙を送るタイムカプセル郵便事業を実施

・空き家や移住定住の勉強会を大沼・羽布自治区で開催し、自治区の受入れ体制や空き家の発生防止・活用について学んだ。

・大沼自治区で「私と家族の将来像アンケート」を行い、10年後の将来を家族で話し合う機会を作り、住民の現在の意向を把握した。



▲中学生に向けて取組を説明



▲大沼自治区で行ったセミナー

地域の良いところを発信しよう



観光 ～地域の良いところを発信しよう～

【活動団体】

豊田市しもやま観光協会、三河湖共栄会、香恋の里、しもやまラリー実行委員会など

【主な取組】

・地域内事業者と協力し、三河湖園地の活用を検討し、次の事業を実施した。

10月1日 森ヨガ体験会 in 三河湖園地

11月5日 バードウォッチングセラピー体験会

・世界ラリー選手権（WRC）三河湖スペシャルステージで、しもやまラリー実行委員会を中心に和太鼓の演奏などおもてなし事業を企画、実施した。

・WRCを契機に、三河湖周辺の主要施設の整備と活用を進めるため、三河湖観光周辺整備活用計画を策定した。



▲森ヨガ体験会



▲三河湖を走るラリーカー



生活環境 **子育て**
～子どもはみんな育てよう～

【活動団体】

下山交流館

【主な取組】

- 交流館内に「子育てサロン」を新設し、子育て世代の情報交換、交流の場として活用。
- 未就学児の親子を対象に「親子講座」を4回開催し、親子それぞれがつながりを持ち、楽しく過ごせる場を提供した。
- 毎月1回子育てサポーター4名が子育て支援や親子講座の開催支援などを行った。



▲親子講座の様子



▲子育てサロンで遊ぶ子どもたち



生活環境 **教育**
～子どもと一緒にみんな学ぼう～

【活動団体】

地域学校共働本部

【主な取組】

- 下山中学校1年生を対象に、下山猟友会など地域で働く人の話を聞く会を3回開催した。
- 中学生が企業での職場体験やしもやまスマイルフェスタ、二十歳のつどいの運営スタッフとして参加した。
- わくわく事業補助金を使って、地域住民が東部こども園、花山小学校と一緒に消防署前の壁画を修復した。



▲スマイルフェスタに参加



▲生徒と一緒に修復した壁画



生活環境 **地域内交流**
顔の見える地域をつくろう

【活動団体】

下山地区コミュニティ会議、下山支所

【主な取組】

- わくわく事業を活用し、下山地区体育大会の一環で、ラリーカーのデモ走行を実施し、子どもから大人まで楽しめる内容とした。
- わくわく事業補助金を使って、18団体が地域課題解決に取り組み、活動内容などをしもやま支所だよりで紹介し、住民に周知した。



▲ラリーカーの前で記念撮影



▲わくわく事業活動団体八沢の丘公園整備委員会



生活環境 **基盤整備**
暮らしを守る道路をつくろう

【活動団体】

下山まちづくり推進協議会 基盤整備部会

【主な取組】

- 地域住民の利便性向上などを目的に、地区内の県道及び市道の整備に関して、優先順位を協議・決定した。
- 上記内容を地区の総意として要望書にまとめ、道路管理者（愛知県、豊田市）へ提出した。
- 県及び市の担当者と地区住民が要望箇所の現地視察を行い、要望の説明や今後着実に進めていくよう働きかけた。また、実施中の工事について今後の予定を聞き取った。
- 自治区別に道路の舗装など修繕が必要な箇所を把握し、所管課に修繕を依頼した。



ラリーを応援しよう！豊田しもやまラリー開催

5月21日（日）に羽布町にて「豊田しもやまラリー2023」が開催されます。

豊田しもやまラリーは、昨年度下山地区で初めて開催された中部・近畿地区の地方ラリー選手権です。

今大会は、巴ヶ丘小学校下広場でセレモニアルスタートが行われるほか、スペシャルステージ（SS）を走行する迫力満点のラリーカーを間近で観戦することができます。

また、同会場では、ブース出展やラリー車両展示など、ラリーを身近に感じ、子どもから大人まで楽しめるイベントを実施予定のため、多くの方のご来場をお待ちしています。

詳細は、各自治区に配布するチラシをご確認ください。

11月に開催される世界ラリー選手権（WRC）に向けて、地域一体となってラリーを応援しましょう！

【豊田しもやまラリー2023概要】

〈日時〉 令和5年5月21日（日）

午前9時から午後3時頃まで

〈場所〉 巴ヶ丘小学校下広場

〈内容〉

- ・セレモニアルスタートでの応援
- ・スペシャルステージ（SS）の観戦
- ・イベント開催
（ブース出展、ラリー車両展示）
- ・WRCグッズ配布予定



▲昨年度のセレモニアルスタートの様子



マイナンバーカードの手続きに関するお知らせ

地方公共団体情報システム機構によるシステムの更改作業のため、次の手続きができません。

■とき

令和5年5月1日（月）、2日（火）

■ところ

市民課、支所・出張所

■そのほか

証明書コンビニ交付サービスは停止しません。

■できない手続き

- ・電子証明書の発行、更新
- ・暗証番号の初期化（ロック解除）
- ・券面記載事項変更、継続利用
（氏名、住所などの変更）

【問合せ】 市民課 電話 34-6773



令和5年度 転入・転出者の紹介



なるせ たかし
支所長 成瀬 剛史

商業観光課から異動してきました。下山地区にある四季折々の様々な魅力が多くの人に伝わるよう、また、地域の課題が少しでも解決できるよう、力を尽くしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



みかみ あきこ
担当長 三上 明子

財産管理課から異動してきました。思い出がたくさんあるこの地域での仕事にわくわくしています。地域の皆様に少しでも貢献できるよう頑張りますので、これからよろしくお願いいたします。



まえだ ひろき
主査 前田 浩貴

財政課から異動してきました。支所勤務は足助に続き2か所目となります。過去の地域振興での経験を活かし“地域にダイブ！”を信条に、地域の皆さんと共に下山を盛り上げられるよう頑張ります。



せつつ つよし
会計年度任用職員 摂津 毅

トヨタ自動車から出向してきました。私の生まれ故郷も下山の環境によく似ていて実家に帰ってきたような感覚です。地区の隅々まで回り、少しでも地域の皆さまに顔を覚えていただき、皆さまと一緒に下山の魅力を発信していきたいと思います。

【転出者】お世話になりました

- 佐藤英之 市長公室へ
- 市川真裕 企画課へ
- 今村友幸 ラリーまちづくり推進課へ
- 田中はるみ 高齢福祉課へ



下山地区データ



人口
4,106 人
(-16)



男性
2,039 人
(-10)



女性
2,067 人
(-6)

(3月1日現在)



世帯数
1,646 世帯
(-4)

発行者情報

編集・発行

豊田市役所下山支所 (〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1)
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp



地域記者を募集中心! あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか!



〔 社協下山支所だより 〕

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyō.jp

花山小学校の児童と地域の方々の交流を行いました！

花山小学校の3年生と6年生は1年間かけて障がいの方と高齢者の方の暮らしについて学ぶため福祉実践教室を主として様々な福祉教育行ってきました。

勉強の締めくくりとして地域の高齢者の方と学んだことを活かして交流を行いました！

福祉実践教室について

豊田市社会福祉協議会では児童・生徒に講義や体験を通して障がいを理解してもらい福祉の心を養う機会づくりを目的として実践教室を開催しています。



棒サッカー

ヨガ
ストレッチ

すごろく

6年生

花山自治区高齢者クラブ（花山寿会）の会員さんと交流しました。高齢者でも楽しめる遊びと健康作りのための体操を6年生の児童が考えました！



3年生

デイサービス スマイリング下山店に行きました。利用者の方と一緒にフラトレ（フラダンスを使ったトレーニング）を体験しました。

また、この日のために紙芝居も作ってきました。高齢者の方と楽しく交流が出来ました！



フラトレ

紙芝居





下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650
FAX:0565-91-1030



開館:午前9時~午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) HP:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

講座案内

ラリー講座 Mission.1

日時: 5月20日(土)
場所: まどいの丘
対象: 下山地区住民
WRCを思いっきり楽しむ
ラリー初心者向け講座

ささゆり保護活動①

日時: 5月14日(日)
場所: 交流館他
対象: 小学4・5・6年生
中学生
詳しくは学校から配布される
チラシをご覧ください。

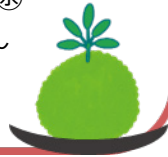


スマイル☆キッズ① ~親子ふれあいあそび~

日時: 5月17日(水)
10時半~12時
場所: 交流館多目的ルーム
対象: 未就園児親子
定員: 15組
内容: 読み聞かせ、
手袋シアター等
申込み: 4月22日(土)
9時30分~

園芸講座① 癒しの苔玉にチャレンジ!

日時: 5月25日(木)
10時~12時
場所: 交流館11会議室
対象: どなたでも
定員: 15人
参加費: 1,700円(材料費含む)
申込み: 4月26日(土)
9時30分~



詳しくはチラシまたはホームページをご覧ください。

令和5年度自主グループ一覧

グループ名	活動内容	活動場所	活動日時
下山コーラスささゆり	コーラス	視聴覚室	第2・4 (火) 9:00~11:00
結 花	フラダンス	視聴覚室	第1・3 (水) 13:00~15:00
なごみの会	パッチワークキルト	12会議室	第4 (木) 12:10~14:50
手編みサークル	編み物・マクラメ	12会議室	第1・2・4 (土) 9:00~12:00
下山囲碁・将棋クラブ	囲碁・将棋の対局	21会議室	第1・3・5 (土) 9:00~15:00
フォトサークルSMY	写真撮影および講評	視聴覚室他	不定期 9:00~15:00
書架係 (ショッカー)	図書利用促進活動	図書室	不定期
ささゆり下山保存会	ささゆりの保護活動	12会議室他	不定期 9:00~12:00

令和5年度職員紹介

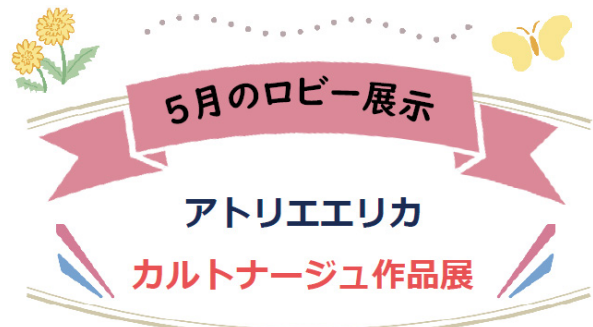
【館長】梶 いづみ 【主任主事】城殿 明美
【主事】本多 淳子・清水真由美・原田かおり
(新人)
【夜間職員】杉本 英雄・矢藤 順一
鈴木 吉則・小原 雅文
後藤 定央・三宅鏡一郎
(新人) (新人)

よろしく
お願いします

お世話に
なりました

退職【夜間職員】辻村 喜一・松本 義信

自主グループに関するお問い合わせ、見学等
については交流館へご連絡ください。





曲家の副業だった

お蚕さん

絵と文 なかむらこ



下田代の道はたに繭の形の石を祀った蚕霊神（たごころい）が居られます。昭和5年頃まではこの中に桑畑があつた。繭の曲家が副業に蚕を育て繭を売って貴重な収入にしてたのだよ。昔は物々交換でやっていられたけれど、段々現金が必要になって来たのでお蚕さんが上手になつたのは生活がかかつたんだ。蚕は卵から4回脱皮して5回目と5蚕が繭を作る。16繭から糸をほいてより合せて絹糸が出来たのだよ。卵から出荷まで1カ月かかる。飼ひ始めるのは春蚕は5月上旬、夏蚕は7月上旬、秋蚕は9月上旬。春蚕が1番上質で値が良いけれど、寒い下では温めるが大変な作業だった。とて遅霜で桑の葉をせらぶると買ひぬねはならぬこともあった。夏や秋蚕は育てやすいが値は安め。台風の時節は桑畑をせらぶて大失敗もある。他地域がやぶれると、お蚕さんがこつこつとこつこつとあつたのだよ。自然次第とはいえず、賭け事みたいな怖さもあつたのだね。

春蚕を育てるのに、下田村中田村が裏を林にして部屋を温めたりと桑の葉を集めて作業がどこと増え、あつても場所も家中のどことなつて、寝る場所以外は春の5月頃しか休めず、寝ても寝ても蚕がだらだら桑の葉を食う音がこつこつとあつて田にほちほちもの、ほちほちお父ちゃんお母ちゃん寝る間も惜しんで大変だった。お蚕さんもおつた、お蚕さんおつた、お蚕さんおつた、お蚕さんおつた。

